ホクコー クリンチャーバス™ＭＥ液剤

■種 類 名：シハロホップブチル・ベンタゾン液剤
■有効成分：シハロホップブチル---------- 3.0%
　　ベンタゾンナトリウム塩（ベンタゾン）---------- 20.0%
■化管法指定物質：シハロホップブチル［第１種］---------- 3.0%
™ コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

■登録番号：第19202号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1996.04.25
■性　　状：黄赤色澄明水溶性液体
■有効年限：5年
■包　　装：500㎖×20本、5㍑×4缶

【特長】

- 移植後１５日～ノビエ５葉期に使用可能な茎葉処理タイプの除草剤。
- クリンチャーとバサグランの混合で、ノビエのほか様々な一年生広葉雑草、多年生雑草に高い効果を示す。
- 直播栽培にも使用できる。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ、セリ、クログワイ コウキヤガラ、シズイ キシュウスズメノヒエ	移植後 15 日 ～ノビエ 5 葉期 但し、 収穫 50 日前まで	1000 ㎖ /10a	70～100 ㍑/10a	２回以内	落水散布 又は ごく浅く湛水して 散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ	は種後 10 日 ～ノビエ 5 葉期 但し、 収穫 50 日前まで				乾田・落水状態で 雑草茎葉散布 又は全面散布

シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数	ベンタゾンを含む農薬の総使用回数
３回以内	２回以内

【効果・薬害等の注意】

- 散布液は使用当日に調製すること。
- 薬害のおそれがあるので展着剤は加用しないこと。
- 雑草茎葉にかかるよう散布すること。
- 移植水稲では、散布する前に落水状態にして水の出入りをとめ、まきむらのないように均一に散布すること。また水を落とすことができないところでは、漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態（雑草が水面上に出る状態）にしてまきむらのないように均一に散布すること。
- 散布後少なくとも３日間（浅水処理は５日間）はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流しはしないこと。また、散布後 7 日間は降雨の有無にかかわらず落水しないこと。
- 処理後２日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用すること。
- 深水にすると効果が劣るので注意すること。
- 漏水田(減水深２㎝/日以上)では薬害が発生するおそれがあるので、使用しないこと。
- 本剤は生育期に入った雑草に効果があるが､雑草､特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので必ず適期に散布すること。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカでは発生盛期から増殖中期まで、オモダカでは発生盛期（草丈５～１５㎝）、セリでは増殖初期～盛期、クログワイでは発生盛期（草丈１０～２０㎝）、コウキヤガラでは発生盛期、シズイでは草丈５㎝程度、本田内に再生するキシュウスズメノヒエでは再生茎３～６葉期が本剤散布の適期である。また、畦畔より侵入するキシュウスズメノヒエ防除では畦畔からのほふく茎１ｍ以内の株全体に株元まで散布すること。
- オモダカ、クログワイ防除はオモダカ、クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用すること。
- 薬害のおそれがあるので重複散布をさけること。
- 軟弱苗では薬害（接触害）のおそれがあるので使用はさけること。
- 高温など薬害を生じやすい条件での使用は多めの希釈水量を用い、低濃度液をなるべく水稲にかからないように散布すること。
- 薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意すること。

- 乾田直播水稲に使用する場合、以下の点に特に注意すること。
  - ◆ 重複散布をさけること。
  - ◆ 軟弱徒長苗での使用はさけること。
  - ◆ 高温期又は高温が予想される時は使用をさけること。
- 乾燥が続いた条件では除草効果が低下する場合があるので注意すること。特に、乾田直播水稲に使用する場合は注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。